



みなよろ
「咸宜し」の地・日田で考える、
人づくり・人つなぎ

全国自治体政策研究交流会議・自治体学会
おんせん県おおいた日田大会

大会参加・情報交換会 宿泊・エクスカージョン等のご案内

2016. 8/19 (金) ~ 8/21 (日)

会場／日田市民文化会館「パトリア日田」(大分県日田市三本松 1-8-11)

第 32 回全国自治体政策研究交流会議
おんせん県おおいた日田大会

第 30 回自治体学会
おんせん県おおいた日田大会

主催／第 32 回全国自治体政策研究交流会議
おんせん県おおいた日田大会実行委員会
(大分県・日田市・大分県市長会・大分県町村会)

主催／自治体学会

「おんせん県おおいた日田大会」関連ページ

<http://goo.gl/4yq1sI>

最新の大会情報など、いつでもご覧になれます (QRコードからも入れます)。



「咸宜し」の地・日田で考える、人づくり・人つなぎ

第32回全国自治体政策研究交流会議おんせん県おおいた日田大会

》ごあいさつ

自治体学会の会員の皆様をはじめ、全国津々浦々から多くの方々をお迎えして、第32回全国自治体政策研究交流会議おんせん県おおいた日田大会が開催されることを大変光栄に思います。

近世、ここ山紫水明の地・日田に、広瀬淡窓が「咸宜園」を創立し、同塾は日本最大の私塾として栄え、多くの偉人を輩出しました。本大会では、同塾の名「咸宜」の由来にちなんだ共通テーマ『「咸宜し」の地・日田で考える、人づくり・人つなぎ』を旗印に、地方自治と地域づくりに携わる方々が一堂に会して、先進的な取組を学び合い、議論・交流する場となることを目指します。咸宜園では、学歴・年齢・身分を問わず（「三奪法」）、全ての門下生を平等に教育しました。「鋭きも鈍きも共に捨てがたし 錐と槌とに使い分けなば」という淡窓の詩にあるように、人それぞれの能力を伸ばす教育理念は、地方創生に求められる自律的な地域づくりにまさに必要とされるものです。本格的な人口減少社会が到来し、地域に多くの課題が山積する中、本大会を契機として、各地の志ある人材が刺激し合い、互いに連携することで、新たな創生の実現につながることを期待しています。

本年4月の熊本地震による被害はあったものの、「水郷ひた」そして「おんせん県おおいた」は元気です。清流・三隈川のほとりに並ぶ日田温泉はじめ日本一の湧出量と源泉数を誇る豊富な温泉の数々、豊かな天然自然に育まれた海山の幸、地域の貴重な歴史文化遺産といったおんせん県おおいたの魅力をぜひご堪能ください。皆様のご来県を、地元一同、心よりお待ち申し上げます。

第32回全国自治体政策研究交流会議おんせん県おおいた日田大会
実行委員会委員長（大分県総務部長） 島田 勝則

第30回自治体学会おんせん県おおいた日田大会

》ごあいさつ

本年4月14日、さらには続いて2日後の16日に熊本県において震度7を観測する大地震が発生し、各所で甚大な被害が起きました。被災された方々に心からのお見舞いを申し上げます。また、こうした緊急事態の中、地域のサポートのために日夜格闘を続けておられる各地の自治体関係者の皆様に熱い連帯のエールを送りたいと思います。

こうした困難の中、私たち自治体学会は大分での第30回自治体学会「おんせん県おおいた日田大会」を予定通り開催することとしました。これは私たち自治体学会員のささやかながらも応援の態度表明であるとともに、予期せぬ天災にまけないという自治体学会の決意を示したものです。大会の開催がいわれなき風評被害に苦しんでいる九州の宿泊地への応援になればとも思います。

阪神淡路そして東日本の大災害を経て、苦難を乗り越える智慧を私たちは次代へといかに受け継ぐことができているか、それが私たち自身にも問われます。その意味で、毎日が実証を示す試練の場なのです。

さて、こうしたなかで開催される自治体学会は、1986年の神奈川県での学会設立総会、続く1987年の第1回徳島大会から数えて、記念すべき30回目を迎えます。開催地日田は江戸時代の儒学者で教育者、広瀬淡窓の咸宜園の地です。咸宜園は全国から塾生があつまる近世日本最大の私塾でした。日田はまさしく人づくりの聖地だったのです。これほど自治体学会を開催するのにうってつけの都市もないでしょう。

30回記念の特別講演として、大分県ともゆかりが深い大森彌東大名誉教授にこれからの自治体学のあり方を語っていただくのをはじめとして、地元企画を含む8つの分科会、4つの公募研究発表セッション、2日間にわたるポスターセッションなど、多彩な催しが繰り広げられます。咸宜園に集った志士のパトスを私たちも受け継ぎたいと思います。

自治体学会理事長 西村 幸夫（東京大学大学院教授）

開催概要

8月19日（金）【第32回全国自治体政策研究交流会議おんせん県おおいた日田大会】

日程	内容	備考
11:30	受付開始	
13:00	開会／あいさつ・オープニングアクト	
13:20	基調対談「咸宜園・広瀬淡窓、そして大分の人づくり」 葉室 麟（直木賞作家） 広瀬 勝貞（大分県知事）	
14:30	パネルディスカッション「大分の地域づくりの羅針盤～人とまちの未来像」 パネリスト 桑野 和泉（一般社団法人由布院温泉観光協会会長、株式会社玉の湯代表取締役社長） 山出 淳也（NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事／アーティスト） ポール・クリスティ（The Japan Travel Company代表取締役） 原田 啓介（日田市長） コーディネーター 西村 幸夫（東京大学大学院教授、自治体学会理事長）	参加費（資料代） 2,000円 ※大分県内在勤・ 在住者は無料
16:30	自治体学会あいさつ	
16:35	次期開催地あいさつ	
16:40	閉会／あいさつ（～16:45）	
18:30～20:30	情報交換会（受付18:00～）【三隈川での屋形船（集合場所：隈町公園）】	参加費 4,000円

8月20日（土）【第30回自治体学会おんせん県おおいた日田大会】

日程	内容	備考
8:30	自治体学会総会	
9:30	受付開始	
10:00～12:00	[分科会] ① 地元企画：＜緊急企画＞熊本地震のこれまでとこれから ② かつてこんな魅力的な職員がいた！ ～自治体学会を創り上げてきたレジェンドたちの働き方・生き方～ ③ 地方分権で求められる議員像と人材育成 ④ 公募企画：地域資源の活用から地域を担う人材～共に語り、考えよう！！ [研究発表セッション] A 産業振興と自治体政策 B 地域づくり・文化振興に関する自治体政策	
12:00～13:00	(昼食・休憩)	参加費（資料代）
13:00～13:30	自治体学会表彰式	【会員】 3,000円 【非会員】 6,000円
13:30～14:15	自治体学会第30回大会特別記念講演 「これからの自治体学のあり方を考える」 大森 彌（東京大学名誉教授、元自治体学会代表運営委員）	
14:30～16:30	[分科会] ⑤ 切り抜ける、備える『政策法務』～東日本の経験は熊本・大分で活かされたのか～ ⑥ 子どもの貧困対策 ⑦ 自治体と国とのこれからの関係～沖縄問題を契機として考える ⑧ 地方創生（地域づくり）と外部人材との連携 [研究発表セッション]（セッションC・Dは、一つのセッションとして運営します。） C 健康・環境と自治体政策 D 議会	
8月19日（金） 13:30～16:00 8月20日（土） 10:00～16:00	ポスターセッション	

17:00～	[エクスカージョン]	参加費
	A 水郷ひたの歴史とまちづくりに触れる旅～日田祇園と清流・三隈川～（日帰り）	6,000円
	B 近世日本最大の私塾・咸宜園と大山町が伝えるまちづくり・人づくり（1泊2日）	15,000円
	C 中谷健太郎と語る～由布院のまちづくりの極意（1泊2日）	25,000円
	[A（日帰り）コースは当日中、BC（1泊2日）コースは～21日昼まで] （各コースとも人・食・温泉（宿泊コース）等、地域資源に関連した行程・内容）	

第 32 回全国自治体政策研究交流会議 おんせん県おおいた日田大会

8月19日（金） 13：20～14：15

◆ 基 調 対 談 ◆

対談者 葉室 麟 氏（直木賞作家）・広瀬 勝貞 氏（大分県知事）

演 題 「咸宜園・広瀬淡窓、そして大分の人づくり」

概 要 江戸期に最大の私塾として栄えた「咸宜園」。同塾には開設者・広瀬淡窓が掲げる「咸宜し（みなよろし）」の教育理念の下、約5千名もの門人が全国から集まった。咸宜園における人材育成の本質に迫るとともに、小藩分立から発展した大分県の魅力や今後のあり方を「人づくり」の面から考える。

○ 対談者のプロフィール

葉室 麟（はむろ りん） 直木賞作家

1951年福岡県北九州市生まれ。1979年に西南学院大学文学部卒業。地方紙記者などを経て2005年『乾山晩愁』で第29回歴史文学賞受賞。2007年『銀漢の賦』で第14回松本清張賞受賞、2012年『蝸ノ記』で第146回直木賞受賞。同作の他、豊後（大分県）を舞台にした主な作品に『潮鳴り』、『春雷』、『秋霜』などがある。福岡県久留米市在住。

広瀬 勝貞（ひろせ かつさだ） 大分県知事

1942年大分県日田市生まれ。東京大学法学部卒業。1966年通商産業省（現・経済産業省）入省。在スペイン日本大使館一等書記官、中小企業庁計画部長、内閣総理大臣秘書官、通商産業省貿易局長、通商産業省機械情報産業局長を経て、1999年通商産業省事務次官、2001年経済産業省事務次官を歴任。2003年に大分県知事当選、2010年九州地方知事会会長就任。広瀬淡窓の弟で、日田の掛屋にして府内藩などの財政改革に尽力した広瀬久兵衛の子孫。

8月19日（金） 14:30~16:30

◆パネルディスカッション◆

演題 「大分の地域づくりの羅針盤～人とまちの未来像」

概要 由布院や大山など多彩なまちづくりの事例から「地域づくりのメッカ」とも称される大分県。ここでは、国内外の最前線で活躍する県内のパネリストが、互いの事例を通して「大分版・地域づくり」の将来や、基盤となる人材のあり方について議論する。

○ パネリスト

桑野 和泉（くわの いずみ） 一般社団法人由布院温泉観光協会会長、
株式会社玉の湯代表取締役社長

1964年大分県湯布院町（現由布市）生まれ。家業の宿「由布院玉の湯」の専務取締役を経て、2003年代表取締役社長となる。2007年一般社団法人由布院温泉観光協会会長に就任。旅館業のかたわら、町づくりなどの地域活性化グループの代表や世話人を務めるほか、国や県の研究会などの委員を務める。

山出 淳也（やまいで じゅんや）NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事／アーティスト

1970年大分生まれ。アーカスプログラムによるレジデンス（茨城県、1996-7）、ACCによる助成を受けNY、PS1でのインターナショナルスタジオプログラム参加（2000-1）。ポーラ美術振興財団の助成による欧州滞在（2002）。文化庁在外研修員としてパリに滞在（2002-2004）。帰国後、地域や多様な団体との連携による国際展開を目指して、2005年にBEPPU PROJECTを立ち上げ現在に至る。2008年芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞（芸術振興部門）。別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合プロデューサー（2009、2012、2015）、国東半島芸術祭総合プロデューサー（2014）

ポール・クリスティ The Japan Travel Company 代表取締役

1961年イギリスのケント州、ウィツタブル生まれ。1987年埼玉県川越市に語学留学。1989年日本経済新聞のヨーロッパ総局のデータバンク局でのアナリスト、1995年NHKのフリーランスのディレクターなどをしながら、1997年WALK JAPANのフリーランス ツアーリーダーとして着任。2002年大分県の国東半島に移住し、森林、田畑や民家の再生に着手。2010年WALK JAPANの役員及び経営者に就任。The Japan Travel Company 株式会社を設立、同半島内の農村集落を拠点にインバウンドの受入活動を行う。

原田 啓介（はらだ けいすけ） 日田市長

1958年大分県日田市生まれ。1979年（有）原田ビル（日田の里）役員、2000年福岡県杷木町観光協会事務局長などを経て、2011年日田市長就任（現在2期目）。1994年から「自由の森大学」の実行委員長や事務局長を計9年間務めるなど、地域づくり・人材育成の活動歴も豊富。

○ コーディネーター

西村 幸夫（にしむら ゆきお） 東京大学大学院教授、自治体学会理事長

1952年福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学大学院教授。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画、市民主体のまちづくり論など。工学博士。日本イコモス国内委員会委員長、文化庁参与、国土交通省国土審議会委員など。主な著書に『西村幸夫 風景論ノート』（鹿島出版会）、『都市保全計画』（東大出版会）、『環境保全と景観創造』（鹿島出版会）など。「おおいだツーリズム大学」学長など、大分県との関わりも深い。

大会統一テーマ 「^{みなよる}咸宜し」の地・日田で考える、人づくり・人つなぎ

<分科会 (10:00~12:00)>

分科会 1 (地元企画) 〈緊急企画〉熊本地震のこれまでとこれから

<p>熊本県、大分県を中心とする一連の群発地震の発生は、地震が少ないと思われていた九州に衝撃を与えた。これまで九州では、自然災害はもっぱら台風、水害を念頭においており、地震に対する対策、住民避難と避難所運営について、事前に十分な対策を講じていたとは必ずしもいえない実態があった。</p> <p>こうした中で、被災自治体においては手探り状態で初動対応にあたった他、九州各県、また全国各地からの応援により、今もなお震災対応が進められている。</p> <p>本分科会では、被災した市町村職員による事例報告を踏まえ、分科会参加者によるワークショップ形式で、今回の震災から得られた教訓と、今後の対応に必要なものは何かを考える。</p> <p>なお、本分科会の運営は、地元である九州自治体学会が、東日本大震災の経験を持つ東北自治体学会の協力を得て行うこととしている。</p>	<p>●事例報告者 島田 勝則 [大分県総務部長 (九州地方知事会事務局長)] 熊本県内の基礎自治体職員 2名を予定</p> <p>●コーディネーター 加留部 貴行 (加留部貴行事務所AN-BA I代表)</p>
---	--

**分科会 2 かつてこんな魅力的な職員がいた！
～自治体学会を創り上げてきたレジェンドたちの働き方・生き方～**

<p>今年度、自治体学会は30周年を迎えた。自治体学会の初期メンバーたちの多くは、この学会を一つの心の拠り所にしなが、各々の現場で「自治体職員ならではの仕事」を生み出してきた。しかし、こうした事実は必ずしも現役世代に知られているとは言えないのではないだろうか。</p> <p>そこで、本分科会では、「レジェンド」たち(=すでに亡くなってしまったが、われわれが継承し、後世に伝えていくべき思想や行動を伴っていた自治体職員)の中から、広松伝氏(元・柳川市職員)、桑原美和子氏(元・目黒区職員)、森清和氏(元・横浜市職員)、荒川俊雄氏(元・寝屋川市職員)の4名を選出し、彼(女)らの思想と行動を手がかりに、自治体職員の働き方・生き方はどうあるべきなのかを考えてみたい。</p>	<p>●パネリスト 吉田 迪夫 (大牟田文化会館館長、元大牟田市職員) 加藤 ひとみ (上智大学非常勤講師、元埼玉県職員) 杉刈 武 (藤沢市職員) 荒木 和美 (寝屋川市職員)</p> <p>●コーディネーター 大石田 久宗 (三鷹市社会福祉事業団常務理事、元三鷹市職員)</p>
---	---

分科会 3 地方分権で求められる議員像と人材育成

<p>地方分権における自治体の意思決定の重要な関門である自治体議会の、運営や制度の改革が取り組まれてきたが、いまだ政策形成機能の充実には定着せず、行政に対するチェック機能も、場合によっては低下していることも見られる。制度を動かす議会人の資質の議論が残されてきているのではない。</p> <p>地方分権改革のなかにおかれた自治体において、議員や議員を支える人々に求められる資質の整理が必要になっている。資質として何が必要か、資質を形成するためにはどのようなことが必要か確認する必要がある。</p> <p>問題議員が多発している状況に、市民との関わりではどのような取り組みが必要か確認していく。</p> <p>地方自治を機能させるために必要な議員の人材育成の取り組みから、資質を育てていく仕組みを考えていく。</p>	<p>●パネリスト 前泊 美紀 (那覇市議会議員、自治体学会議員研究ネットワーク) 清水 克士 (大津市議会事務局長) 土山 希美枝 (龍谷大学政策学部教授)</p> <p>●コーディネーター 廣瀬 克哉 (法政大学公共政策大学院教授、元自治体学会代表運営委員)</p>
--	---

分科会 4 (公募企画) 地域資源の活用から地域を担う人材～共に語り、考えよう！！

<p>これまで、人口減少時代における地域生き残り戦略を考え、地域資源の活用による地域づくりの議論を深めていくと、いつしか話題は、地域を支える「ヒト」の在り方に焦点が絞られていく。「まちづくりは人づくり」といわれるように、将来を担う地域人材をいかに育てていくかが地域づくりの鍵といえる。小・中・高校から社会人に至るまで、どういった教育・学習がなされているのか。そして、地域にどう根付いていくのか。</p> <p>本分科会では、小・中学校で行われている景観地域づくり学習、島根県隠岐島前高校魅力化プロジェクト、地域おこし協力隊の活動など、若年層に対する教育・学習活動を基軸として、地域を支える「ヒト」の育成・地域愛の醸成等について考え、共に語り合っていきたい。</p>	<p>●パネリスト 藤井 裕也 (NPO法人山村エンタープライズ代表理事) 大野 公寛 (東京大学大学院教育学研究科 生涯学習基盤経営コース修士課程2年) 高橋 隆行 (新潟市公共建築第一課係長)【調整中】</p> <p>●コーディネーター 進士 五十八 (福井県立大学学長、元自治体学会代表運営委員)</p>
--	---

<自治体学会賞表彰式

(13:00~13:30) >

<自治体学会第30回大会記念事業

(13:30~14:15) >

特別記念講演 これからの自治体学のあり方を考える

<p>おんせん県おおいた日田大会は、自治体学会にとって、30回目の節目となる大会である。本大会は、『「^{みなよろ}威宜し」の地・日田で考える、人づくり・人つなぎ』を統一テーマとしているが、自治体学会設立以来のこの30年の人づくり・人つなぎが、今の自治体学会を形づくったものといえる。</p> <p>一方、地方自治をとりまく環境をみると、30年前と異なり、多くの地域が人口減少社会に直面するなど、地域の存立そのものが問われ始めている。</p> <p>しかし、現場や地域の課題を自らの力で的確にとらえ、解決していく姿勢と行動力が問われていることは、30年前も今も変わるところはない。</p> <p>そこで、自治体学会の代表運営委員を務め、また地方自治論、公務員論などにおいて我が国をリードし続けてこられた大森彌先生にこれからの自治体学のあり方を述べていただき、今後の会員の活動を考える契機としたい。</p>	<p>●講演者 大森 彌 (東京大学名誉教授、元自治体学会代表運営委員)</p>
--	--

<分科会 (14:30~16:30) >

分科会 5 切り抜ける、備える『政策法務』～東日本の経験は熊本・大分で活かされたのか～

<p>東日本大震災は、液状化現象や津波さらには原発事故も加わり、文字どおり東日本全体に、未曾有の被害をもたらした。そこでは、地震規模の大きさゆえ、事実としても法制度上も、様々な未曾有の事態が発生した。</p> <p>一方、本年4月以降熊本・大分を中心に発生している一連の地震も、経験則にない状況が続き、多くの被害が発生し、その対応への不安が大きい。</p> <p>本分科会では、東日本大震災における被災状況、復旧・復興における課題を行政法学の視点から振り返るとともに、熊本・大分の地震でその経験が果たして活かされているのかを検証し、法政策として次の大震災にどう備えるのかなど、地域目線での災害の法理論について議論する。</p>	<p>●パネリスト 鈴木 庸夫 (明治学院大学法科大学院教授、弁護士) 飯川 斉 (宮城県保健福祉部障害福祉課副参事兼課長補佐) 村野 淳子 (別府市危機管理課防災推進専門員) 鏡水 三千男 (公益財団法人千葉県消防協会常務理事 兼事務局長)</p> <p>●コーディネーター 磯崎 初仁 (中央大学法学部教授、自治体学会研究支援部会長)</p>
---	---

分科会 6 子どもの貧困対策

<p>2014年1月に子どもの貧困対策推進法が施行され、政府は同年8月に「子どもの貧困対策大綱」を閣議決定した。多くの自治体も対策に乗りだした。しかし、子どもの貧困に関する現状は広く認識されておらず、自治体の取り組みにも差がある。</p> <p>生まれ育った環境によって子どもの将来が左右されない社会をつくるために、自治体や地域が果たすべきことは何か。貧困の連鎖を防ぐには、どんな手だてが必要か。さまざまな角度から意見を交わしたい。</p>	<p>●パネリスト 上田 淳子 (兵庫県播磨町教育委員会 教育総務グループ総括) 奥村 賢一 (福岡県立大学人間社会学部 社会福祉学科准教授) 國師 洋典 (一般社団法人自立生活サポートセンター こんぱす (大分市) 事務局長)</p> <p>●コーディネーター 前田 隆夫 (西日本新聞東京支社報道部次長)</p>
--	--

分科会 7 自治体と国とのこれからの関係～沖縄問題を契機として考える

<p>米軍普天間飛行場の移設先とされる名護市辺野古沖沿岸部埋め立てをめぐり、埋め立て承認権を基に、新基地の建設に反対する沖縄県知事と国との対立が法廷闘争に発展した。国による代執行訴訟、県による国地方係争処理委員会への審査申し立てなど、2000年地方分権改革でできた法制度が使われており、国・自治体関係に重い問題を提起している。沖縄でいま何が起きているかを知った上で、第1次分権改革の積み残した課題という視点から、沖縄問題を契機として国と地方自治体の政府間関係と協議のあり方を考える。</p>	<p>●パネリスト 人見 剛 (早稲田大学法学学術院教授) 佐藤 学 (沖縄国際大学教授) 尾形 宜夫 (元共同通信社編集委員・論説委員)</p> <p>●討論参加者 (予定) 金井 利之 (東京大学大学院法学研究科教授、自治体学会総務部会長)</p> <p>●コーディネーター 青山 彰久 (読売新聞東京本社編集局企画委員)</p>
---	---

分科会 8 地方創生 (地域づくり) と外部人材との連携

<p>地方創生 (地域づくり) を進めていくうえで、モノ・カネ・情報は調達できても詰まるところ、主体となる人材・人材がない (じゃあ、誰がする?) という壁にぶち当たるケースがよく見られる。</p> <p>こうした場面で大学生や地域おこし協力隊など、外部人材との連携は、地域づくりにおける大きなきっかけを与え、またその人材が定着し主体へと成長していくことで地域の活性化が期待される。</p> <p>しかし、果たしてそれで地域の持続性は担保されるのであろうか? 地域と外部人材がどのように関わっていくことが、地域の主体性を確保しながら持続的な地域づくりができるのか、双方の視点から議論したい。</p>	<p>●パネリスト 清野 未恵子 (神戸大学大学院 人間発達環境学研究所特命助教) 松岡 勇樹 (株式会社アキ工作社代表取締役社長) 小金丸 麻子 (うすきツーリズム活性化協議会事務局) 後藤 雅人 (竹田市企画情報課農村回帰推進室)</p> <p>●コーディネーター 山浦 陽一 (大分大学経済学部准教授)</p>
---	--

公募研究発表セッション

会員が自治の諸課題に取り組む実践報告、大学院生・研究者らによる研究成果などを発表し、会場の参加者と議論を深めます。

下表の4テーマ、11人（組）の発表が行われます。

テーマ、発表者の詳細は、自治体学会ホームページをご覧ください。

（なお、セッションC・Dは、一つのセッションとして運営します。）

セッションA	産業振興と自治体政策	<10:00~12:00>
セッションB	地域づくり・文化振興に関する自治体政策	<10:00~12:00>
セッションC	健康・環境と自治体政策	} <14:30~16:30>
セッションD	議会	

ポスターセッション 8月19日（金）13:30~16:00、20日（土）10:00~16:00

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取組の紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

自治体学会事務局からのお知らせ

◆8月20日（土）の参加者受付について

- ・受付場所：日田市民文化会館「パトリア日田」1階ロビーで行います。
- ・受付時間：9時30分から受付を開始します。
午後から参加される場合でも、必ず、受付を済ませてください。

◆自治体学会総会について

- ・自治体学会の総会は8時30分から9時30分までの予定で、パトリア日田小ホール（せせらぎ）で行います。
- ・総会に出席される学会員の方は、8時25分までに直接「小ホール」にお越しください。
- ・総会終了後、分科会開始前あるいは休憩時間等に適宜受付を済ませてください。

◆分科会・研究発表等会場について

- ・パトリア日田が会場です。会場の一覧表を当日受付で配布いたします。

◆昼食会場について

- ・パトリア日田周辺に飲食店はいくつかありますが、昼の時間帯は混雑が予想されますので、昼食を持参するか、弁当の予約をお勧めします。
- ・弁当は、大ホール及び小ホールを除く、パトリア日田館内の各室・各スペースでおとりいただくことができます（大ホール及び小ホール内での飲食はできません。）。

第32回全国自治体政策研究交流会議・第30回自治体学会おんせん県おいた日田大会 大会参加・宿泊・情報交換会等お申込みのご案内

宿泊の取扱いは、JTB 総合提携店トラベルサロン日田による「受注型企画旅行」となります。

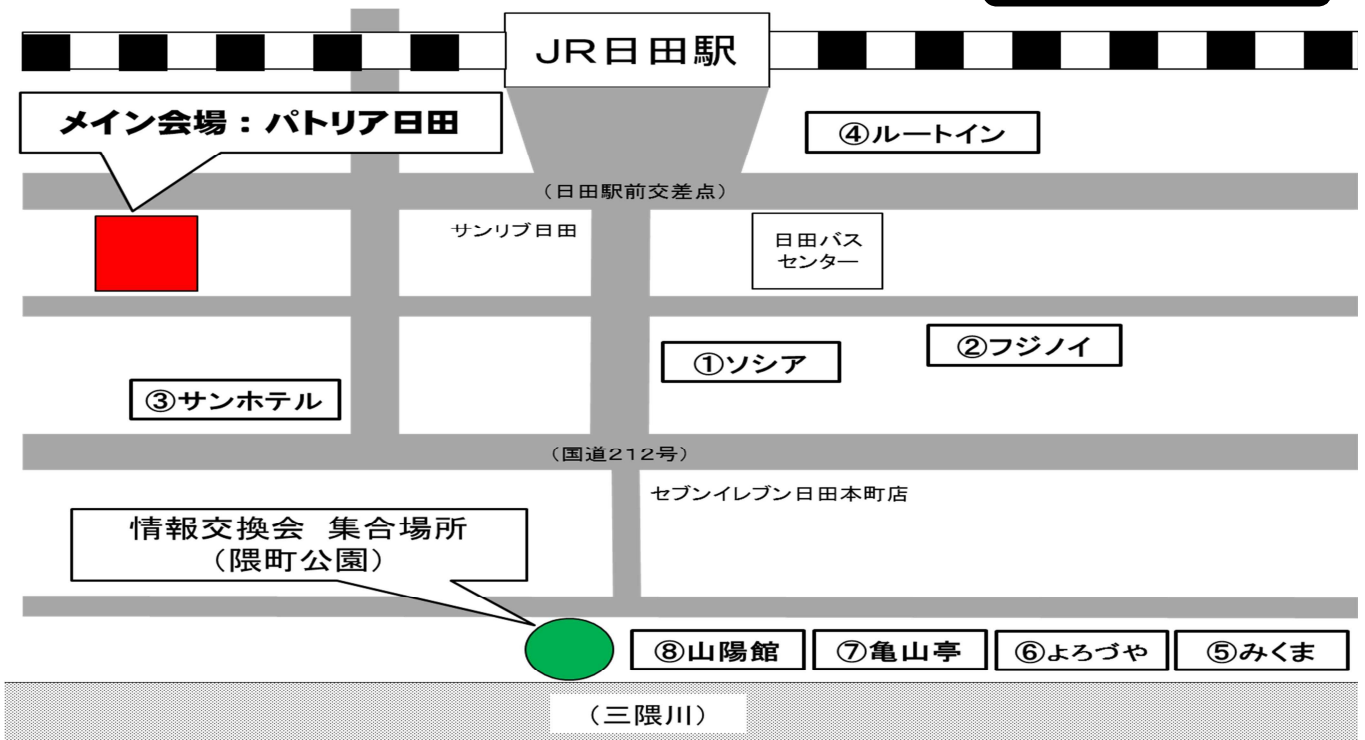
1. 宿泊のご案内

- ◆宿泊期間 平成28年8月18日(木)～8月20日(土)
- ◆旅行代金(宿泊料金) お一人様当たり1泊朝食付、税金・サービス料込
- ◆申込記号 申込書へ必ずご記入ください。

宿泊ホテル名	申込記号	宿泊料金(お一人様当たり)	
① ホテルソシア 大分県日田市元町17-3	1-S	シングル	8/18、8/19、8/20 7,000円
② プラザホテルフジノイ 大分県日田市元町19-27	2-S	シングル	8/18、8/19、8/20 6,000円
③ サンホテル日田 大分県日田中央2丁目2-5	3-S	シングル	8/18、8/19、8/20 6,500円
④ ルートイン日田駅前 大分県日田市元町21番14号	4-S	シングル	8/18、8/19 7,500円 8/20 8,000円
≪日田温泉街～三隈川沿いの旅館宿≫ ※2名1室利用基本(個室希望の方はご相談ください。)			
⑤ 小京都の湯 みくまホテル	5-T	2名1室 (和室)	8/18、8/19 8,150円
⑥ 日田の宿 よろづや	6-T		8/20 9,150円
⑦ 歴史の宿 亀山亭	7-T		
⑧ ひなの里 山陽館	8-T		
※入湯税を含みます。			

※宿泊料金は、大分県「九州ふっこう割」事業の対象となる可能性があります。詳細は、表紙のHPでご確認ください。
 ※ご予約は、お申込順とさせていただきますが、部屋数の関係でご希望どおりにならない場合は、他のホテルへご案内させていただきますので、あらかじめご了承ください。
 ※宿泊ホテルの申込記号は、「第二希望」までご記入ください。

日田市内概略図



2. 情報交換会のご案内

- ◆日時 8月19日(金)18:30～20:30 (受付 18:00)
- ◆場所 三隈川での屋形船 (集合場所:隈町公園)
※雨天の場合、みくまホテル3F大ホール
- ◆料金 4,000円
(乗船の都合上、歩きやすい靴でお越しください。)

3. 昼食(お弁当)のご案内

- ◆日時:8月20日(土)
- ◆内容:日田の食材を使ったお弁当
- ◆料金:1,000円(お茶付 税込)

第32回全国自治体政策研究交流会議・第30回自治体学会おんせん県おいた日田大会 エクスカージョン（8月20日～21日）のご案内

ご案内エクスカージョンは下記の3コースです（各コースとも添乗員が同行）。

	コース名	募集人員	最少催行人員	旅行代金 (大人お一人様)
A	水郷ひたの歴史とまちづくりに触れる旅 ～日田祇園と清流・三隈川～(日帰り)	30名	20名	6,000円
B	近世日本最大の私塾・咸宜園と大山町 が伝えるまちづくり・人づくり(1泊2日)	30名	20名	15,000円
C	中谷健太郎と語る～ 由布院のまちづくりの極意(1泊2日)	20名	15名	25,000円

- ◆各コースの旅行代金には、宿泊料(日帰りコースを除く)、食事代、入館料等が含まれます。
(旅行代金は、大分県「九州ふっこう割」事業の対象となる可能性があります。詳細は、表紙のHPでご確認ください。)
- ◆最少催行人員に満たない場合は、中止させていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ◆受付はお申込みの順とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。
- ◆希望コースは、「第二希望」までご記入ください。
- ◆内容については、都合により変更となる場合がございます。
- ◆各コースとも、一部徒歩の行程があります。歩きやすい服装、靴でご参加ください。

エクスカージョン各コースの詳細

- ◆視察先でも、自治体職員、NPOの職員、地元の方々が見どころを説明いたします。
- ◆様々な形で、地元の方々と地域づくりに関する意見交換をすることができます。
- ◆一般の訪問では体験することができない催しを組み合わせています。

※記入例：貸切バス === 徒歩 ……

**真夏の時期となるため、各コースとも
熱中症・紫外線の予防対策を万全に！**

A：水郷ひたの歴史とまちづくりに触れる旅～日田祇園と清流・三隈川～（日帰り）

九州一の大川・筑後川の源をなす清流・三隈川の散策を通して「水郷ひた」と呼ばれる独特の歴史・文化・まちづくりに触れる日帰りコースです。歴史情緒あふれる町並み、静かな川べりを辿った後、天然鮎など清流が育む自慢の郷土料理をお召し上がりください。

月 日	日 程
8/20 (土)	<p style="text-align: center;">17:00発 ⇒貸切バス 17:10～17:50 18:00～18:40 パトリア日田 === 日田祇園山鉾会館・むらくもの松 === 三隈川交流センター「朝霧の館」</p> <p style="text-align: center;">18:50～19:50【夕食】 20:00解散 (20:26発 普通 久留米行) …(三隈川散策)…「春光園」===== JR日田駅 (20:43発 普通 大分行)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: small;">日田祇園山鉾会館では、豪華絢爛な曳山行事が国の重要文化財に指定されるなど、300年の伝統を誇る日田祇園祭の歴史などについて話を聴きます。その後、三隈川交流センター「朝霧の館」にて、地元NPO法人による川や水を通したまちづくりの取組などについて話を聴き、三隈川沿いを散策後、天然鮎などの自慢の郷土料理をお楽しみください。 ※歩きやすい服装、靴でご参加ください。</p> </div>

※食事条件は夕1回です。

B : 近世日本最大の私塾・咸宜園と大山町が伝えるまちづくり・人づくり（1泊2日）

みなよる

今回のテーマ「咸宜し」の教えの発祥となった近世日本最大の私塾・咸宜園。本コースでは、同塾及び周辺エリアの魅力、また、今日のまちづくりのモデルとされる日田市大山町の取組とともに、今昔の地域づくり・人材育成の事例を学ぶことを通じて、地方創生で求められる「人づくり・人つなぎ」の本質とは何かを考えます。

月 日	日 程
8/20 (土)	<p>17:00 ⇒貸切バス 17:30~19:30【夕食】 パトリア日田===大分大山町農協「木の花ガルテン」・「オーガニック農園」=== 20:00 ===小京都の湯 みくまホテル ※原則「複数名で1室(相部屋)」となります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>木の花ガルテンでは、「梅栗植えてハワイに行こう！」のキャッチフレーズによる「NPC運動」で全国的に有名になった大山町のまちづくりの歩みや同町農協の取組などをご紹介します。夕食はバイキングレストラン「オーガニック農園」で100種類もの農家おもてなし料理をお楽しみください。</p> </div>
8/21 (日)	<p>9:00 ⇒貸切バス 9:15~10:00 10:00~11:30 ホテル===「咸宜園」(教育研究センター)・・・「豆田町」歴史さんぽ・・・</p> <p>11:50~12:40【昼食】 12:50解散 (13:05発 ゆふいんの森2号 博多行) ===「寶屋本店」・・・JR日田駅 (13:48発 ゆふ3号 大分・別府行)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>昨年4月に日本遺産に認定された、近世日本最大の私塾「咸宜園」を見学するとともに、同塾について地元の子どもたちが学びながら観光案内を行う「日本遺産こどもガイド」の取組を紹介します。その後、同塾とともに繁栄した重要伝統的建造物群保存地区「豆田町」を散策し、同町の歴史を活かしたまちづくりなどについてご案内します。 ※歩きやすい服装、靴でご参加ください。</p> </div>

※食事条件は朝1回(ホテル)、昼1回、夕1回です。

C : 中谷健太郎と語る～由布院のまちづくりの極意（1泊2日）

「おんせん県おおいた」の代表格・由布院が今日の地位を築き上げるに至ったプロセスは、今や我が国のまちづくりのモデルとして全国に知られています。しかし昨今のインバウンドの増加や地震に伴う各種被害などによって、由布院を取り巻く環境にも多くの変化が見られています。

本コースでは、由布院のまちづくりのリーダー・中谷健太郎氏と、地域の暮らしをベースとした滞在型保養地のまちづくり・人づくりのあるべき姿を、参加者の方々と一緒に考えます。

この日、この時、この場所でしか味わえない、そんな1泊2日となるでしょう。

月 日	日 程
8/20 (土)	<p>17:00 ⇒貸切バス 18:00~18:20 18:30~【夕食】 パトリア日田===高速道路===ゆふいんホテル秀峰館===「亀の井別荘・湯の岳庵」 ※原則「複数名で1室(相部屋)」となります。 ※宿泊ホテルでいったん荷物を降ろした後、夕食等の会場へ移動します。</p> <p>・・・^{せつあんご}「雪安居」(中谷健太郎氏を囲み座談会)・・・(各自移動)・・・ホテル</p>
8/21 (日)	<p>10:00~11:30 12:00解散 ホテル・・・ウォーキングガイドによる由布院散策・・・(ホテル)・・・由布院駅 ※ウォーキングは宿泊ホテルからスタートします。(12:09発 ゆふいんの森2号 博多行) (12:39発 ゆふいんの森3号 大分・別府行)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ウォーキングでは、現地ガイドと一緒に歩いて、由布院の自然や暮らし、町の魅力について解説します。「地元の人と歩かなきゃ、見えてこない景色があります」を合言葉に、その地域ならではの良さをガイドが紐解きながらご案内します。 ※歩きやすい服装、靴でご参加ください。</p> </div>

※食事条件は朝1回(ホテル)、昼0回、夕1回です。

■旅行条件の要約

お申込みの際には、必ず旅行条件書(全文)を(お申込過程で画面表示)にて事前に内容をご確認ください。

1 受注型企画旅行契約

この旅行は JTB 総合提携店トラベルサロン日田が旅行者からの依頼により企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は、同社と受注型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び同社旅行業約款受注型企画旅行契約の部によります。

2 旅行のお申込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、お申込みください。
- (2) 旅行契約は、同社が契約の締結を承諾し、旅行代金を受領したときに成立するものとします。

3 旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって13日目にあたる日から前(又は、同社が指定する期日まで)にお支払ください。また、お客様が同社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申出がない限り、お客様の承諾日といたします。(旅行代金は、大分県「九州ふっこう割」事業の対象となる可能性があります。詳細は、表紙のHPでご確認ください。)

4 取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、各箇所記載の金額を取消料として申し受けます。

5 旅行代金に含まれるもの

各旅行日程及びご案内に明示した運送機関の運賃・料金(注釈のないかぎりエコノミークラス)、宿泊費、食事代、及び消費税等諸税といった費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払戻しいたしません。

(コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません。)

6 特別補償

同社は、同社又は同社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、受注型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が受注型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

- ・ 死亡補償金：1,500万円
- ・ 入院見舞金：2～20万円
- ・ 通院見舞金：1～5万円
- ・ 携行品損害補償金：お客様1名につき～15万円(但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。)

身体外部から有毒ガス又は有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収又は摂取したときに急激に生ずる中毒書状(継続的に吸入、吸収又は摂取した結果生ずる中毒症状を除きます。)を含みます。

ただし、細菌性食物中毒は含みません。＜免責事項＞

7 「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

同社提携クレジットカード会社のカード会員(以下「会員」といいます。)から「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払を受ける」こと(以下「通信契約」といいます。)を条件にお申込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。

- (1) 契約成立は、同社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき(e-mail等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様に到達したとき)とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知していただきます。
- (2) 「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻しの債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。(但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、同社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して7日間以内をカード利用日として払い戻します。)
- (3) 与信等の理由により会員のお申出のクレジットカードでお支払いができない場合、同社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、同社が別途指定する期日まで現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

8 国内旅行保険への加入について

旅行先において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の国内旅行保険に加入することをお勧めします。詳細については、お問合せください。

9 事故等のお申出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込個所にご通知ください(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

10 個人情報の取扱いについて

同社は、旅行申込みの際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びこれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。また、大会運営に伴い、大会を主催する事務局へ情報を提出し利用させていただきます。

11 旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2016年6月1日を基準としています。また、旅行代金は2016年6月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

お申込み・お支払いの方法

- ① 別紙申込書に必要事項をご記入の上、JTB 総合提携店トラベルサロン日田までメール、FAX 又は郵送にてお申し込みください。(※FAX で申し込む場合は、同社営業時間内に着信確認のお電話をお願いします。)
- ② **間違いを防ぐために、電話でのお申込みは受付できませんので、予めご了承ください。**
- ③ 8月初旬に「各種参加券」・「宿泊予約確認書」・「請求書」を代表者様に一括してお送りいたします。
- ④ お送りしました書類の内容をご確認後、**8月12日(金)まで**に指定口座へお振り込みください。
- ⑤ 振込手数料は各自ご負担いただきますようお願い申し上げます。
- ⑥ 差額及び変更による追加・返金は、大会終了後の精算とさせていただきます。

お申込みの締切日

2016年8月1日(月)

※満席になり次第、締め切らせていただきます。

変更・取消しについて

大幅に変更になる場合は、その都度ご連絡ください。

◆宿泊人員の変更について

宿泊日前日までの変更は、「変更・取消届」に変更内容を正確にご記入（又は、申込書に変更事項を加筆）の上、「JTB 総合提携店トラベルサロン日田」受付係宛に、FAX又はメールをお送りください。

※宿泊日当日は、直接ホテルへご連絡をお願いします。

◆情報交換会の変更・追加について

ご連絡がない場合は、当初の申込人数でお受けします。

<エクスカーション取消料は以下のとおりです>

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日		取消料(お1人様)
旅行開始日の 前日から起算して さかのぼって	1. 21 日前にあたる日以前の解除	無料
	2. 20 日前にあたる日以降の解除(3~6を除く)	旅行代金の 20%
	3. 7 日前にあたる日以降の解除(4~6を除く)	旅行代金の 30%
	4. 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の 40%
	5. 当日の解除(6を除く)	旅行代金の 50%
	6. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の 100%

<宿泊プランの取消料は以下のとおりです>

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日		取消料(お1人様)
旅行開始日の 前日から起算して さかのぼって	1. 11 日前にあたる日以前の解除	無料
	2. 10 日前にあたる日以降の解除(3~6を除く)	旅行代金の 20%
	3. 7 日前にあたる日以降の解除(4~6を除く)	旅行代金の 30%
	4. 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の 40%
	5. 当日の解除(6を除く)	旅行代金の 50%
	6. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の 100%

<情報交換会参加費・自治体学会参加費(資料代)の取消料は以下のとおりです>

手配先との取決めにより、**8月12日(金)以降の取消しによる返金はできません。**

<p>JTB 総合提携店 トラベルサロン日田 担当:小旗・森山 「全国自治体政策研究交流会議・自治体学会 受付係」 〒877-0046 大分県日田市本庄町 1-13 TEL:0973-22-4317 FAX:0973-22-4398 E-mail: salon@jtbhita.jp 営業時間 平日/9:30~19:00 (土曜・日曜・祝日/9:30~15:00) 総合旅行業務取扱管理者 森山 隆史 旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引責任者です。 ご旅行の契約に関し担当者からの説明に不明の点がありましたら、ご連絡なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。</p>	<p>旅行企画・実施 JTB 総合提携店 トラベルサロン日田 福岡県知事登録旅行業 第 2-379 号 一般社団法人全国旅行業協会正会員</p>
--	---

第32回全国自治体政策研究交流会議・第30回自治体学会おんせん県おおいた日田大会 申込書

No.

旅行手配等のために必要な範囲内での運送・宿泊機関・保険会社等への個人データの提供について同意の上、以下のとおり申し込みます。

都道府県名	_____		
所属団体名 ・ 部署名	_____		
申込代表者名	TEL	FAX	_____
連絡先住所 (書類送付先)	自宅 勤務先	〒 _____	

お申込みは、メール、FAX
又は郵送にてお願いします。

申込期限	_____
8月1日(月)	_____
申込日(記入日)	_____
月	_____
日	_____

No.	参加者名簿への掲載可否	所属名 部署名	フリガナ 氏名	8月19日(金)		8月20日(土)		エクスカーション 代金は別頁参照	宿泊希望 ホテル料金は別頁参照	宿泊日			弁当 料金: 1,000円	備考
				政策研究交流会議 参加費: 2,000円 ※大分県内 在勤・在住者 は無料	情報 交換会 参加費: 4,000円	自治体学会 等参加費(資料代): 【会員】3,000円【非会員】6,000円	午前 セッション 発表			午後 セッション 発表	18日 (木)	19日 (金)		
例	可 <input checked="" type="radio"/>	〇〇県〇〇部 〇〇〇〇課	ヒタ 如方 日田 太郎	〇	〇	1	C・D	A~Cコース	第一希望 第二希望	18日 (木)	19日 (金)	20日 (土)	〇	禁煙ルーム希望
1	可・否													
2	可・否													
3	可・否													
4	可・否													
5	可・否													

※上記申込書に必要事項をご記入の上、メール、FAX又は郵送にてお申込みください。

※希望施設が満室等の場合がありますので、「第二希望」まで必ずご記入ください。

※連絡先住所は、自宅、勤務先のいずれかに〇印を付けてその住所をご記入ください。

※郵送でのお申込みの場合は、お手元に控えのコピーを取ってください。

※政策研究交流会議参加費・情報交換会参加費・自治体学会参加費は大会事務局

からの依頼に基づきJTB総合提携店トラベルサロン日田が代行收受するものです。大会事務局の委任状が必要な方は、上記欄にご記入ください。

※研究発表セッションC・Dは、一つのセッションとして運営しますので、申込みに当たっては、「C・D」とご記入ください(記入例参照)。

政策研究交流会議参加費・情報交換会参加費・自治体学会
参加費の支払いで大会事務局の委任状が必要な方

委任状の
宛先

※お申込みは、メール、FAX又は郵送にてお願いします。

①郵送先 〒877-0046 大分県日田市本庄町1-13

JTB総合提携店 トラベルサロン日田 担当:小旗(こばた)宛

②メール送信先 E-mail: salon@tbhita.jp

③FAX送信先 JTB総合提携店 トラベルサロン日田 FAX:0973-22-4398

*参加者が多数の場合は、コピーしてご利用ください。

JTB総合提携店 トラベルサロン日田 行

FAX : 0973-22-4398

第32回全国自治体政策研究交流会議・第30回自治体学会おんせん県おおいた日田大会

大会参加・宿泊・情報交換会等 変更・取消届

都道府県		所属団体名		フリガナ 申込代表者名	
TEL	()	—	FAX	()	—

※下記のとおり、変更・取り消しいたします。

参加者氏名	変更・取消内容	
	変更前	変更後
1		
2		
3		
4		
5		

※変更・取消しが生じた場合は、変更内容を正確にご記入後、JTB総合提携店トラベルサロン日田へお送りください。

※FAX又はメールの到着が下記「受付係」の営業時間外の場合は翌営業日の受付扱いとさせていただきます。

※下記「受付係」へ連絡の無い変更・取消しについては一切返金できませんのでご了承ください。

※変更・取消しによる精算は大会終了後に行います。

【お問合せ先】

JTB 総合提携店 トラベルサロン日田

「全国自治体政策研究交流会議・自治体学会 受付係」

〒877-0046 大分県日田市本庄町1-13

TEL : 0973-22-4317 FAX : 0973-22-4398 E-mail : salon@jtbhita.jp

営業時間 : 9:30~19:00 (土曜・日曜・祝日/9:30~15:00)



日田の豊かな水を育む津江山系の源流域



町並みを優しく照らす「千年あかり」の竹灯ろう



天領日田おひなまつり



小鹿田焼の里 民陶祭



みなよろ
「咸宜し」の地・日田で考える、
人づくり・人つなぎ

第32回全国自治体政策研究交流会議おんせん県おおいた日田大会事務局

〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号

大分県総務部 市町村振興課内 TEL:097-506-2406 FAX:097-506-1720

自治体学会事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-1 KANDADA 3331 2階

TEL&FAX:03-5577-3187